

1 題材名 「生活を豊かにするリバーシブルバッグの製作」C (3)

2 題材について

メディア社会と言われる昨今,多くの情報をたやすく得たり,自ら発信し伝達することは日常的に行っている生徒たちであるが,自ら考え進んで生活を工夫したり,実践していくことの実験は決して多くはない。例えば小学校で習っているはずのボタン付けなどでも,日頃実践する機会も少ないためか,とれてしまっても自分でつけることのできない生徒は多い。

本題材では衣生活の学習における基礎的,基本的な知識や技術の定着をはかるために,まず基礎縫い(手縫い,ミシン縫い)を学習し,それを生かしてリバーシブルバッグの製作を行うこととした。特にバッグにつける「便利ポケット」への工夫や個性の表現を仲間同士で発表,アドバイスをしあい,言語活動も取り入れて課題発見,問題解決的な学習の充実にもつなげたい。

オリジナルの「リバーシブルバッグの製作」を通し,自ら考え工夫し,製作,活用することの楽しさを感じさせ,「生活に生きる力」を育むことを目指したい。

3 題材の目標

衣生活において,基礎的・基本的な知識,技能を身につけ,布を用いた物の製作を通して生活を豊かにするための工夫や計画,実践する能力を育てる。

4 指導と評価の計画

- (1) 自分や家族の生活を豊かにするリバーシブルバッグを工夫しよう。…3時間(本時3/3)
 (2) リバーシブルバッグの製作(準備,ポケット付け,脇縫い等) …8時間
 (3) 製作作品の発表と活用 …1時間

| 時間 | ねらいと学習活動 | 評価 | | | |
|-------------|---|-----|----|----|----|
| | | 関意態 | 工創 | 技能 | 知理 |
| 3 本 時 | (1) 自分や家族の生活を豊かにするリバーシブルバッグを考える。 | | | | |
| | 1 ・ポケットの種類と製作方法を学ぶ。 | | | | ○ |
| | 1 ・基礎縫いの学習を生かし,自分の技能にあった方法を取り入れ,機能性やデザイン性を考え工夫をする。(便利ポケットの工夫) | ○ | ○ | | |
| | 1 ・発表会を通して,お互いに作品に盛り込まれた工夫点や活用方法を知り,自分の考えを再考,発展させる。 *自分の考えたポケットについて発表する。 *友人のアドバイスを聞き,デザインの修正・確認をする。 | ○ | ○ | | |
| 8 | (2) リバーシブルバッグの製作 ・自分の考え,工夫したデザインを取り入れ,生活を豊かにするリバーシブルバッグを製作する。 | ○ | | ○ | |
| 1 | (3) 製作品について発表する。 ・製作したリバーシブルバッグについて取り組みの過程や工夫について発表し合い,言葉にまとめる。 | ○ | | | |

5 本時の学習

(1) 日時 平成26年10月30日(木)

(2) 場所 山梨北中学校

(3) 題材 「便利ポケットのデザインを発表しよう。」

(4) 本時の目標

- ・自分で考えたデザインや活用方法を発表することができる。(関意態)
- ・互いにアドバイスをしあいよい点や改善点を知り、自分の作品作りに生かすことができる。(工創)

(5) 本時の評価計画

| 関意態 | 工創 | 技能 | 知理 | A 十分満足できると判断される状況 | B 概ね満足できると判断される状況 | C 努力を要する状況にある生徒への支援 | 評価方法 |
|-----|----|----|----|--|---------------------------------------|--|--------------|
| ○ | | | | 自分の考えたデザインや活用方法をわかりやすく発表できる。 | 自分の考えたデザインや活用方法を発表できる。 | 自分の考えたデザインが発表できるように、支援する。 | 発表 |
| | ○ | | | 発表を聞きあい、よい点、改善点を知り、自分なりに考えたり工夫したりして作品作りに生かすことができる。 | 発表を聞きあい、よい点、改善点を知り、自分の作品作りに生かすことができる。 | 発表を聞きあい、よい点、改善点が見つけれられるよう、ポイントを絞って聞き取るように支援する。 | 発表 ワークシート |

(6) 本時の展開

| | 学習内容・学習活動 | 指導上の留意点 | 評価・その他 |
|-----------|--|---|---|
| 導入 5分 | 1 前時までの流れを確認する。 2 本時の学習内容を確認する。 (ワークシート『便利ポケットを考えよう』の発表の準備。) | *各自に、ワークシート『便利ポケットを考えよう』を確認させる。 *本時の学習内容を伝える。 (班の中でスムーズに発表できるように確認させる。) | ※ワークシート『便利ポケットを考えよう』 |
| 展開 35分 | 3 発表方法とワークシートへの記入方法を知る。 【発表・アドバイス】3人班1人約5分 ・ワークシート『便利ポケットを考えよう』の発表。 ・「アドバイスの観点」をふまえ、友達の発表に対して、「よい点(ピンク色の付箋)」「改善点(水色の付箋)」を記入し友達のワークシートに貼る。 | *発表方法とワークシートへの記入方法を説明する。 *わかりやすい発表ができるように支援する。(声の大きさなど) *発表者への「アドバイス(よい点、改善点)の観点」を示す。(掲示) [アドバイスの観点] ①活用方法に適した工夫がされているか。 ②基礎縫い診断を参考にし、 | ※ワークシート『便利ポケットを考えよう』 「自分の考え・工夫+アドバイス→修正」を1枚に記録 ※付箋(2色) ・複写形式にし次分の手元にも残るように工夫。 ・教師のアドバイスも付箋に書いて各自に配布。 |

| | | | |
|------------|--|--|---|
| | 4 ワークシート『便利ポケットを考えよう』に貼られた「よい点」「改善点」を参考に、再度自分のデザインを振り返り修正、確認をする。 | 基礎縫いの学習が活かされているか。(まつり縫い・スナップ付け) ③制限された時間(2時間)の中でポケット製作ができるか。 | [評価] ・発表 ・ワークシート『便利ポケットを考えよう』 (工創) |
| まとめ 10分 | 5 代表者が発表をする。 6 今日の授業の反省評価 次回の学習内容を知る。 | *教師が指名する。(1~2名) *友達からのアドバイスを元に、修正確認した内容を発表する。(モニターで映し出す) *次回は製作の計画を立て、製作に入ることを伝える。 | ※実物投影機 大型TV [評価] ・発表 ・振り返りシート |